

市長賞



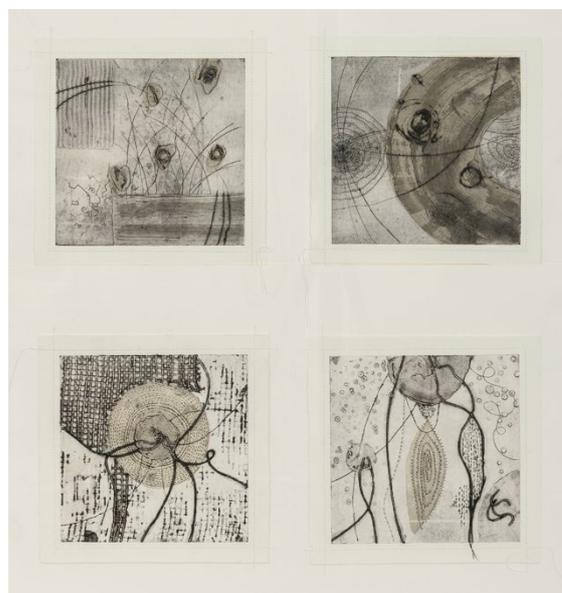
ラピス 堀口昌之

市議会議長賞



静日 上村晃代

教育長賞



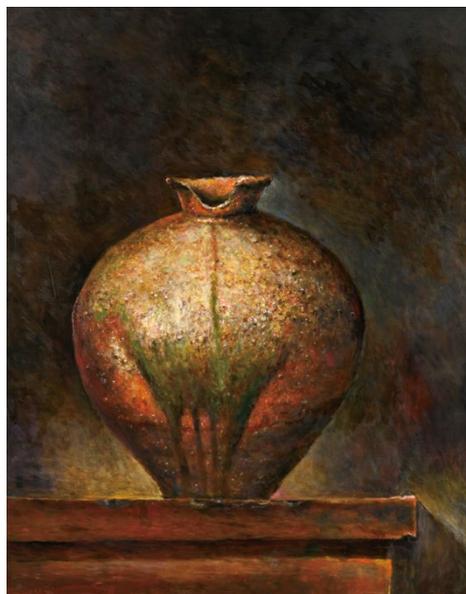
work 吉村典子

## 岡田文化財団賞



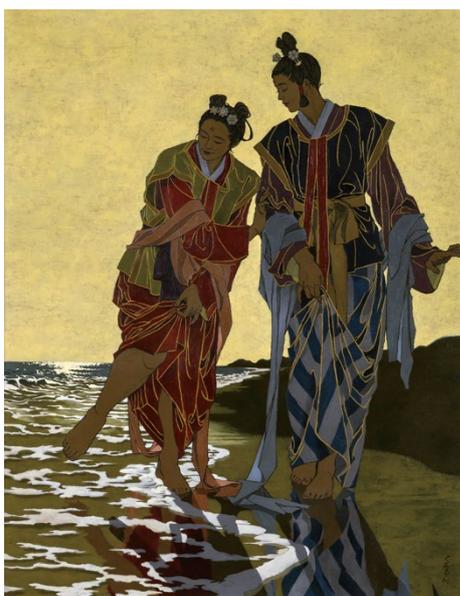
市街地をぬけて 竹内恭子

## ケイミックスパブリックビジネス賞



壺と語る 堤 雅秀

## 神宮司庁賞



玉裳の裾に潮満つらむか (万葉集、伊勢行幸の折)  
西浦沙紀

## 部門全体講評

個性尊重の時代を反映してなのか、出品作品には日本画、鉛筆画、水彩、アクリル、銅版画、油彩画、それに抽象具象と、以前にも増して多様な表現が見られました。新型コロナウイルスの影響で、自己と向き合う姿勢も強く感じられ、中にはどこか懐かしい気分させられる表現にも出会うことができました。市長賞となった《ラピス》は青い鉱物が秘める様々なイメージを引き出し絵画化された知的な作品です。岡田文化財団賞の《市街地をぬけて》は、繊細で柔らかな光と陰が解放感を与えてくれます。今後も皆様の可能性を最大限に引き出した作品を期待しています。